

## 平成28年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	北陸地区国立大学知財マネジメント高度化研究会 (支援期間：平成26年度～平成28年度)			
大学名	所属		氏名	
富山大学	研究推進機構 産学連携推進センター 知財・リエゾンオフィス (富山大 TLO)		○千田 晋、小谷 晴美、今川 昌彦、 高橋 修、岡田 哲朗、平川 龍夫、 金田 佳己、牧野 士朗	
金沢大学	先端科学・イノベーション推進機構		○目片 強司、渡辺 奈津子 (H29.3 まで)	
福井大学	産学官連携本部 知的財産・技術移転部		○樋口 人志 (H28.8 より)、漆崎 行乃利	
北陸先端科学技術 大学院大学	産学官連携総合推進センター		○稲本 康 (H29.3 まで)、山本 外 茂男、和田 透	
注1. 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。 注2. 所属 (その他の機関については職名も) については、平成29年3月末現在を記入。				
その他の機関 の 構 成 員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	国立研究開発法人・科学 技術振興機構	イノベーション拠点 推進部	マッチングプランナー	松本 健
成果概要	<p>1. 目的 産学官連携アウトカム充実による知的財産マネジメントの高度化に関する研究</p> <p>2. 達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①知財 (単願特許) を介した4大学の産学官連携部門の具体的連携の実現</li> <li>②北陸3県の企業・自治体と各校の産学官連携活動の強化</li> <li>③北陸地区の企業に向けたコーディネート活動の連携実施</li> <li>④JST事業とのマッチング等による4大学知財の最適利用の検討と推進</li> </ul> <p>3. 連携活動概要</p> <p>【これまでの活動】</p> <p>平成23年度から昨年度までに、各大学での研究会・セミナーの実施、産学連携の共通課題 (大学における知財マネジメントの在り方、共同研究契約書等のひな型等) の解決や、各校の単独出願特許の分類、集約に取り組んできた。</p> <p>【平成28年度活動】</p> <p>以下の取り組みを実施し、北陸地区の産業面のレベル向上に資するには4大学が連携したコーディネート活動が必要との認識で一致した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各大学で知財に関連する課題解決へ向けたセミナーを実施。 「産学連携で期待される大学知財のアウトカムについて」(H28.8.31 富山大) 「知的財産による投資回収について」(H28.11.25 金沢大) 「富士通の開放特許」(H29.1.10 北陸先端大) 「名古屋議定書 (生物多様性条約) の現状と今後」(H29.3.1 金沢大、3.8 富山大) 「ふくい知財フォーラム (川崎市コーディネート支援活動 他)」(H29.3.13 福井大)</li> <li>・北陸新幹線沿線5大学連携 (特許庁事業、(株)信州 TLO 受託) に金沢大、北陸先端大、富山大が参加し、8回のシーズ紹介、技術相談を実施。</li> <li>・神奈川サイエンスパーク (KSP) シーズニーズマッチング事業へ13件を登録。</li> <li>・分類、集約した各校の単独出願特許(600件)を「マッチングハブ金沢2016」にて4大学共同で地域産業界へ情報提供。出口イメージで集約した単願リストを基に事業申請し採択される。4大学の継続した知財関係者の連携活動を基に、単独出願特許のリストアップと整理を行い、外部制度への複数テーマを登録した。また、知財関係者のみならずコーディネート活動と連携することで一貫した産学連携を地域として取組める素地が形成されてきている。</li> </ul>			
獲得した外部 資金	<p>(事業採択) 中部経済産業局 平成29年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金 (H29年度 特許庁 地域中小企業知的財産支援力強化事業) 「しらすぎプロジェクト」補助上限額 9,450千円：4大学単願 (600件) の研究者との共同研究促進目的</p>			